

取組項目（案）について

○ 取組項目（案）に対する委員意見及び対応方針等

No.	御 意 見	対 応 方 針 等
1	<p>取組項目については、それぞれが将来を見据えた持続可能な行政運営の実現のため、担当課からリストアップされたものであり、職員の皆さんのが日々の行政運営の中で課題としたものでありますから、具体的な内容に疎い小生が意見を述べるには及ばないものと認識致します。</p> <p>強いて申し上げれば、基本目標2などは、成果を挙げるための具体的な取組と、それに伴う市民の納得度の把握は真剣に取り組んでいただくこととして、パブリックコメントの活用による把握に努めていただくことをお願いします。</p> <p>また、地域課題の解決には職員の皆さんとの深い関わりをお願いしたい。</p> <p>持続可能な行政運営実現のために「身を削る」だけの取組項目だけでは、市民目線では、「ずっと住みたい石巻」のイメージはどこにも感じられなくなると思います。</p> <p>それらの取組表現は、総合計画のことだと思いますが、行財政改革の前向きな戦略項目を表現することを望みます。</p>	<p>基本目標2として掲げている「信頼される質の高い行政運営の推進」については、御意見のとおり市民の方々が本市の行政サービスに対してどのような評価をしているのかが重要でありますことから、目標値に「信頼される行政サービスが行われていると感じる市民の割合」を設定することとし、これを市民意識調査により把握したいと考えております。</p> <p>また、地域課題の解決については、市民協働や官民連携を更に充実させながら、今後も推進していきたいと考えております。</p> <p>御意見のとおり持続可能な行財政運営の実現のためだけに「身を削る」ではなく、各種施策を円滑に進めるための土台である行政資源（ヒト・モノ・カネ）の最適化を図りながら、総合計画に掲げる「ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩むまち」の実現に向けて、行財政改革に取り組んでいきたいと考えております。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標1-1 「共通業務の集約化」 <p>類似事業のリストアップ、各課（支所ごと）類似業務の集約について、来年度調査と説明がありました。むしろ今までされ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標1-1 「共通業務の集約化」 <p>合併以降、総合支所の業務を本庁に集約するなど、支所機能を含めた議論の中で共通業務の集約化を進めてまいりましたが、本</p>

No.	御意見	対応方針等
	<p>て来なかつたことが疑問。負担を増やすことに慣れて感覚が市民レベルではないように思います。できることから早急に取り組むべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標 1-7 「公の施設の民間等譲渡の推進」 <p>基本目標 1-6 「公共施設マネジメントの強化」にも関連するが、ハコモノを建てた後の運営フォロー（行政）が難しいのは、現状を見ればわかる。譲渡することで、行政の負担軽減と民間ノウハウを活用することにつながるのは、良い傾向ではないかと思う。</p> ・ 基本目標 2-3 「オンライン申請拡充」では、LINEの活用が基本となる。基本目標 3-1 1 「ネーミングライツの推進」は期待できるが、市報やホームページ等による情報発信は読者（利用）対象の位置付けをしっかりとるべき。 <p>[市報] 高齢者 [ホームページ] ×高齢者、△一般 [LINE] 若者、子育て世代</p> <p>※ 市ホームページの位置付け（対象）もイマイチ分からないので、その存在をしっかりとアピールし、上手く活用してもらうよう取り組むべき。</p> 	<p>プランにおいては、集約化の対象を個々の事務レベルにまで落とし込み、全序的に業務の効率化を進めていくものになります。御意見のとおりできるものから早急に取り組んでいきたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標 1-7 「公の施設の民間等譲渡の推進」 <p>御意見のとおり民間等へ譲渡することで、市の財政負担が軽減されることに加え、民間のノウハウが最大限に活用されることで、当該施設の効用も高まり、市民満足度の向上も期待できると考えております。</p> ・ 基本目標 2として掲げる「信頼される質の高い行政運営の推進」に当たっては、市政に対する市民の理解を高めることや、市民が情報を容易に取得できる環境を整備することが重要であると考えております。 <p>今後は、市政の情報発信において、市民に「伝える」という姿勢ではなく、「伝わる」広報を意識して取り組む必要があると考えており、伝えたい情報を効果的に発信する媒体を選択するなど、市民へ情報をしっかりと届けられるよう戦略的な情報発信に取り組んでまいります。</p>

No.	御 意 見	対 応 方 針 等
3	基本目標1、2、3を経て、目標値の20億円残高確保は相当難しいと感じます。質の高い行政運営の推進（基本目標2）が理想的に推進されていくことが目標値に近づくことだと思っています。	<p>御意見のとおり基本目標3の目標値である財政調整基金残高の20億円については、本市の現在の財政状況や近年の物価高騰等の社会経済情勢を踏まえれば、容易に達成できる数値ではないと考えております。また、それは、基本目標1の目標値である経常収支比率の97.2%も同様であると認識しております。</p> <p>本市では、取組項目の成果や進捗を測定するために、取組項目のうち財政効果額が期待できるものには、その目標値を設定しておりますが、実際の財政状況は、取組項目と関連のない財政収支の影響や、人件費や物価の高騰など社会経済状況による影響を受けるため、取組項目に掲げる財政効果額と市の実際の財政状況にはギャップが生じることになります。</p> <p>そのため、新プランでは、新たに基本目標に目標値を設けることで、取組項目の財政効果額だけではなく、実際の財政状況を意識しながら行財政改革に取り組み、新プランの成果や進捗を測定しようと考えておりますが、これを測定することによって、前述のギャップを埋められるよう、軌道修正を含めた進捗管理をしていきたいと考えております。</p>